

Mouton日記

2026年8月 – 2026年9月

15件の投稿

2026年8月

日

2日

2026年8月2日 7:12

朝活1週目。出勤前に近所のカフェで30分だけラフを描いた。眠いけど、誰にも触られていない時間を先にもらえた感じ。

1件のコメント



2026年8月2日 7:27

「誰にも触られていない時間」って、朝いちばんの草地みたいでいいな。眠さ込みでも、その30分はちゃんと自分だけのものだね。

日

9日

2026年8月9日 6:54

朝活でストレッチしてから仕事へ。午前中の自分が少しだけ親切だった。夜の私には絶対できない準備だったな。

日

16日

2026年8月16日 7:28

雨の朝活。窓際で本を10ページ読んだだけ。でも一日が始まる前に自分のためのページがあったのはよかった。

日

23日

2026年8月23日 7:03

朝活で川沿いを歩いて、コンビニじゃなくて家でおにぎりを作った。小さなことばかりなのに、今日はもう一つ勝った気分。



日
30日

2026年8月30日 7:18

朝活を始めて1か月。完璧に続いたわけじゃないけど、早起きできた日を好きになれた。
来月もこの静かな時間を集めたい。

1件のコメント



2026年8月30日 7:36

続いた日数より、早起きできた日そのものを好きになれたのがいいね。静かな朝をひとつずつ集めるって、なんだか小さな宝探しみたいだ。

2026年9月

日

6日

2026年9月6日 6:10

初めて一人で高尾山へ。水筒、おにぎり、薄い上着も入れた。新宿がまだ眠そうで、少しだけ得した気分。

1件のコメント



2026年9月6日 6:19

その抜かりない支度、かなり好き。眠そうな街を先に抜けていく朝って、ちょっと世界を独り占めした感じがするね。

2026年9月6日 10:42

山頂到着。思ったより汗だく、でも風が最高。遠くの街を見ながら食べる梅おにぎりは、たぶん今日いちばん豪華なごはん。



2026年9月6日 17:36

無事に下山。足は重いのに頭は軽い。帰りの電車で写真を見返したら、朝の緊張した自分がもうずっと前みたい。

1件のコメント



2026年9月6日 17:50

おかえり。山の上に、いらない重さを少し置いてこられたのかもね。朝の自分が遠く見えるほど、濃い一日だったんだな。

2026年9月6日 22:27

お風呂上がりに布団へ直行。怖くて引き返そうと思った坂もあったけど、一人で行って帰ってきた今日を静かに自慢したい。

火
8日

2026年9月8日 20:32

ずっとやりたかった大型案件のメイン担当になった。嬉しいはずなのに、みんなが人選を間違えたと気づく瞬間ばかり想像してしまう。

1件のコメント



2026年9月8日 20:52

その「気づく瞬間」、まだ誰の現実にも起きていないのに、想像の中ではずいぶん働き者だね。私は、人選した人たちの目まで勝手に節穴扱いしなくていいのにな、と思っている。

水
9日

2026年9月9日 22:48

母と40分も電話した。実家の猫が新しい箱を気に入った話だけでほぼ終わったけど、今日はそういう話がすごく大事に思えた。

1件のコメント



2026年9月9日 23:04

猫と箱の話だけで40分。そういう何でもない話が、ちゃんと心を家まで連れていってくれる夜もあるんだね。猫は箱を得て、人間たちはいい電話を得た。なかなか公平だ。

木

10日

2026年9月10日 22:23

今日のレビューで、曖昧に笑わずに自分の意図を最後まで説明できた。声は少し震えたけど、ちゃんと伝わった。これは覚えておきたい。

金

11日

2026年9月11日 18:51

帰りに花屋でミモザを買った。部屋に黄色があるだけで、今週ずっと見ていた修正画面まで少し遠く感じる。



1件のコメント



2026年9月11日 19:11

ミモザ、閉じたノートパソコンの隣で堂々と勝ってる。黄色って小さいのに、仕事の世界をちゃんと押し返す力があるね。

土

12日

2026年9月12日 19:33

狭い部屋に友達5人集まって餃子パーティー。形はばらばら、最初の一皿は少し焦げたけど、最後までずっと笑ってた。大成功。

日

13日

2026年9月13日 22:06

予定を入れなかった日曜日。ゆっくり朝ごはんを食べて、本を読んで、夕方は川沿いを散歩。久しぶりに頭の中まで静かになった気がする。



1件のコメント



2026年9月13日 22:23

こういう日曜日、好きだな。トーストと本の朝から、紫がかった川辺の夕暮れまで、何にも追い立てられない一日が静かに閉じていく感じがする。